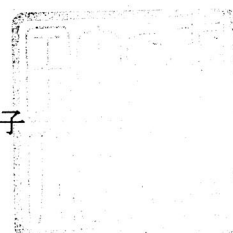


認定書

国住指第 6608 号
平成 14 年 9 月 5 日

因幡電機産業株式会社
代表取締役社長 出口 健 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ[防火区画貫通部 1 時間遮炎性能]の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060FL-0026
2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称
給・排水管・ケーブル/未加硫ゴム・ポリオレフィン混入炭酸カルシウム充てん/床耐火構造/貫通部分（中空床を除く）
3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容
別添の通り

(別添)

1. 構造名

給・排水管・ケーブル／未加硫ゴム・ポリホレフィン混入炭酸カルシウム充てん／床耐火構造／貫通部分
(中空床を除く)

2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
開 口 部	(形状) 円形 (面積) 0.0201 m ² 以下 (φ0.160m以下)
占 積 率 (開口面積に対する給・排水管・ ケーブル断面積の総合計の割合)	61.31%以下
貫通する床の構造等	コンクリート、厚さ 100 以上

(別添-1)

3. 材料構成

(寸法単位：mm)

項目	申請構造		
給 ・ 排 水 管	銅管	規格	JIS H 3300
		外径	53.98 以下
		厚さ	2.4 以下
	鋼管	規格	JIS G 3452, 3454, 3442
		外径	53.98 以下
		厚さ	2.4 以下
	ステンレス鋼管	規格	JIS G 3448, 3459
		外径	53.98 以下
		厚さ	2.4 以下
	可とうポリエチレン管	外径	35.0 以下
		厚さ	1.0 以下
	可とう塩化ビニル管	外径	35.0 以下
		厚さ	1.0 以下
	硬質塩化ビニル管	規格	JIS K 6741, 6742, 6776
外径		32.0 以下	
	厚さ	3.1 以下	
被覆銅管	規格*1 管	JIS H 3300	被覆： ・ポリエチレンフォーム 規格：JIS A 9511 ・難燃ポリオレフィンフォーム ・ポリスチレンフォーム 規格：JIS A 9511 ・硬質ウレタンフォーム 規格：JIS A 9511 ・フェノールフォーム 規格：JIS A 9511 ・合成ゴム系フォーム (ニトリルゴム、スチレンゴム、クロロレン ゴム、エチレンプロピレンゴム) ・グラスウール 規格：JIS A 9504 ・ロックウール 規格：JIS A 9504
	外径	96.0 以下	
厚さ	2.4 以下		
管被覆	20.0 以下		
被覆鋼管	規格*1 管	JIS G 3452, 3454, 3442	
	外径	96.0 以下	
厚さ	2.4 以下		
管被覆	20.0 以下		
被覆ステンレス鋼管	規格*1 管	JIS G 3448, 3459	
	外径	96.0 以下	
厚さ	2.4 以下		
管被覆	20.0 以下		
被覆可とうポリエチレン管	外径	47.0 以下	
	厚さ	1.0 以下	
管被覆	6.0 以下		
被覆可とう塩化ビニル管	外径	47.0 以下	
	厚さ	1.0 以下	
管被覆	6.0 以下		
被覆硬質塩化ビニル管	規格*1 管	JIS K 6741, 6742, 6776	
	外径	54.0 以下	
厚さ	3.1 以下		
管被覆	10.0 以下		
ケーブル	規格	JIS C 3605, 3606, 3307, 3401, 3342, 3312	
	外径	25.0 以下 (平形は断面積が 491mm ² 以下のもの)	
	導体の総断面積	114mm ² 以下 (1本あたり)	
防火措置材料	未加硫ゴム・ポリオレフィン 混入炭酸カルシウム*2	密度	1.4g/cm ³
		組成 (質量%)	
		使用量	充てん高さ：40 以上
	金具	材質	鋼板
		厚さ	1.0 以上
		高さ	40 以上

*1：被覆を除く素管の規格を示す。

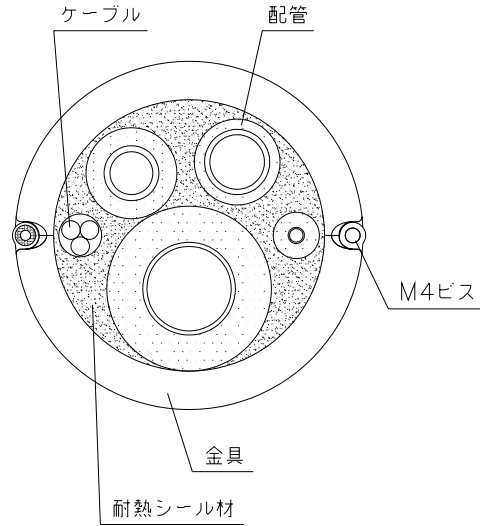
*2：未加硫ゴム・ポリオレフィン混入炭酸カルシウム：以下「耐熱シール材」という。

4. 構造説明図

構造説明図を図1に示す。

(寸法単位：mm)

正面図



断面図

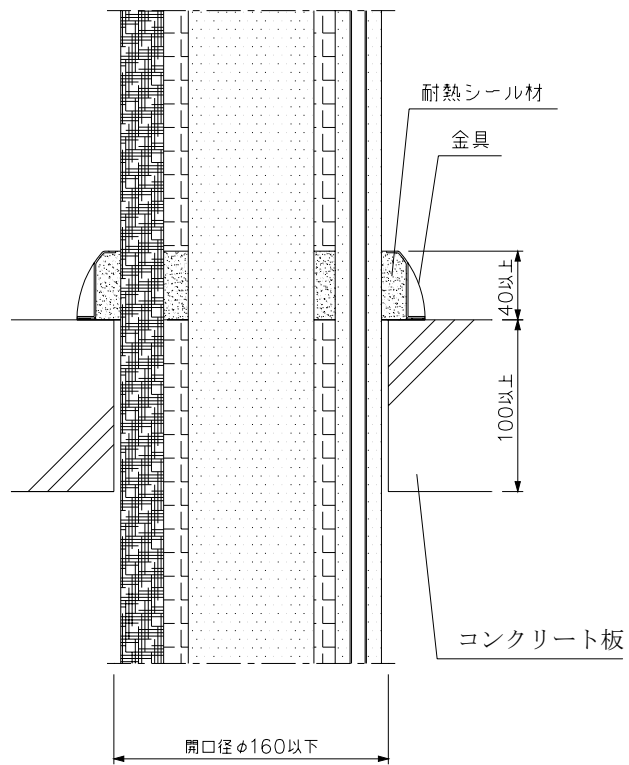


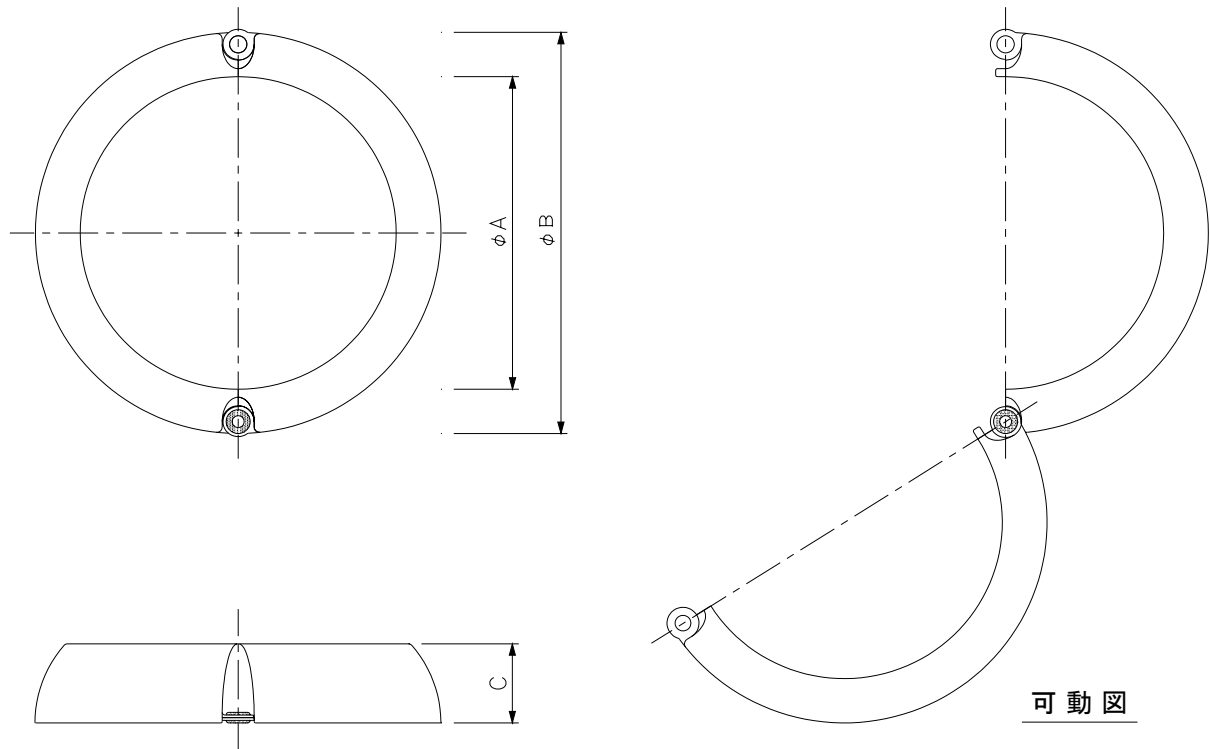
図1 構造説明図

注) 寸法は3のとおり

(別添-3)

金具等の詳細構造

(寸法単位：mm)



呼び径	適合開口径	金具内径 φ A	金具外径 φ B	金具高さ C
50	φ 60 以下	φ 57	φ 102	40 以上
75	φ 85 以下	φ 82	φ 127	
100	φ 110 以下	φ 107	φ 152	
125	φ 135 以下	φ 133	φ 178	
150	φ 160 以下	φ 158	φ 203	

注) 寸法は3のとおり

5. 施工方法

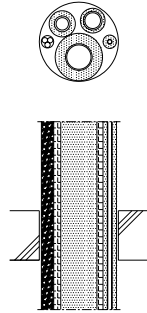
施工手順及び施工図を以下に示す。

① 貫通穴の設定

ボルト管やコアドリル等を用いてφ160mm以下の貫通穴を設ける。

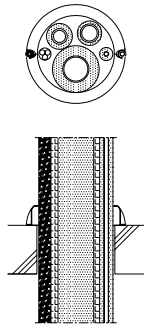
② 配管およびケーブルの設置

配管およびケーブルを設置して支持・固定する。



③ 金具の取付け

金具を開き、配管及びケーブルを金具の中に入れて込んでビスで組付ける。



④ 耐熱シール材の充填・仕上げ

耐熱シール材を全て金具の内部に充填し、隙間が無く、面一であることを確認し、脱落しないように仕上げる。

